

倉敷アカデミックウイーンズ 第21回 定期演奏会



March 3, 2013 14:00

ごあいさつ

第21回 定期演奏会 実行委員長 **三木 剛**

本日はお忙しい中、倉敷アカデミックウインズ第21回定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。3月3日、桃の節句のこの日に皆さんとお会いできることを心待ちにしておりました。

唐突ですが皆さん、「2012年 今年の漢字」って覚えていますか？春の金環日食フィーバー、秋のips細胞の開発でノーベル賞を受賞した山中伸弥教授の金字塔。そして、「金」は少なくとも、日本勢過去最多のメダルを獲得したロンドン五輪も感動を呼びました。その中でもサッカーや卓球などの団体競技の活躍は記憶に新しいところではないでしょうか。

団体競技と云えば、吹奏楽もそう。団創立20周年だった去年、倉敷アカデミックウインズは吹奏楽コンクールで7

年ぶりに岡山県代表として中国大会出場。その中国大会では初の金賞受賞と、二十歳の記念に大きく花を添える一年となりました。日々、切磋琢磨し合い、一つの音楽を作っていく過程と結果は、決して一人では味わうことの出来ない感動や絆を生み、「たかが趣味からされど趣味」へ、そして「各自の生きがい」へと繋がっていきます。我々の演奏会を見て、「あら、楽しそうな楽団ね」「オレ、また楽器吹きたいぜ」と思われた方は軽い気持ちで是非一度、見学においで下さいませ。

さて、「集大成の20回」を経て、「次への新たな船出」となる今回の演奏会、第1部に「大曲三曲」。第2部に「アコーディオン奏者taca氏とのコラボ」。第3部に「指揮者が曲毎に変わる」という、無謀な挑戦を致します。動

き始めた船は簡単には止められず、安全航行か座礁か自爆撃沈か、成り行きは見てのお楽しみ。今日ここにお越し頂いた皆様には「21年目のアカデミック丸」を温かく見守って頂ければ幸いです。

また、開演前のチャリティコンサートにご賛同頂き、誠にありがとうございます。ロビー設置のAMDA募金箱に善意の寄付をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の演奏会を開くにあたりまして、格段のご配慮いただきました团员のご家族や職場の皆様、深いご理解、ご協力、また各方面でご支援下さいました皆様方に感謝し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。



指揮 **山崎 良続**

倉敷青陵高等学校、島根大学教育学部特別教科（音楽）教員養成課程管弦打楽器（ホルン）専攻卒。ホルンを田中昭、新田厚の両氏に師事。編曲法を河添達也氏に師事し、在学中よりプラスアンサンプル・木管アンサンプル・吹奏楽・管弦楽等の編曲活動を行っている。現在、岡山市立京山中学校教諭。



司会進行 **光畑 圭子**

大阪府茨木市出身。

岡山芳泉高等学校、就実女子大学英米文学科卒。

「リビングおかやま」編集部記者からOHKテレビレポーターに転身。同時に、各種司会、テレビ・ラジオのCMなどナレーター活動も開始。英会話イーオンアミティのCD・PC教材は、日本語ナレーションをすべて担当。その後、FM岡山DJ等を経て、近年ではルネスホール初の結婚式披露宴の司会兼プロデュース、県立高校社会人講師として講演、話し方講座などを行い、フリーアナウンサー、司会者として幅広く活躍中。

倉敷アカデミックウインズ定期演奏会の司会は、2001年から今年で連続13回目。ますますの充実ぶりが期待される。

PROGRAM

第1部



ジュビリー序曲
Jubilee Overture

フィリップ・スパーク
Philip Sparke

百年祭

福島 弘和

ノーブル・エレメント
Noble Element

ティモシー・マー
Timothy Mahr

第2部



リベル・タンゴ
Libertango

アストル・ピアソラ
Astor Piazzolla

秋風にのせて

taca

My Soulful Song

taca

パリの空の下
Sous le ciel de Paris

ユベール・ジロー
Hubert Giraud

第3部



Get it On ～黒い炎～
指揮／浅野 尚行

ビル・チェイス
Bill Chase

花は咲く
指揮／岡本 国芳

菅野 よう子

チャップリンの肖像
A Portrait of Charlie Chaplin
指揮／山崎 良続

チャールズ・チャップリン/
サンチェス・ホセ・パディラ
Charles Chaplin/Sanchez Jose Padilla

ハウルの動く城
指揮／山崎 良続

久石 譲／木村 弓

Music

1st Stage

ジュビリー序曲

この曲はフィリップ・スパーク（1951年生）によって、イギリスのGUSバンドの創立50周年のために作曲され、1983年に演奏されました。原曲は金管バンドのためのものでしたが、好評であったため、1984年に吹奏楽に編曲されました。

曲は華やかな厚い響きのファンファーレとコラール風な美しい旋律からできている序奏に続いて、2/4拍子の速い主部に入り、生き生きとしたリズムのテーマが続きます。中間部にはホルンやサクソによるのびのびした美しいメロディーも現

れ、トランペットによってくり返されます。この主部の一部をくり返した後、再び冒頭のファンファーレが現れ、見事なクライマックスを築いて終わります。「Jubilee（祝典）」の名にふさわしい曲です。

百年祭

この曲は、福島弘和が吹奏楽コンクール自由曲として奈良県立城内高等学校から委嘱され、作曲した楽曲です。2005年5月5日にやまと郡山城ホールにて初演され、同年に行われた奈良県吹奏楽コンクールの小編成の部で奈良県代表に選ばれ関西大会に出場、関西吹奏楽コンクールの小編成の部で金賞を受賞しました。

奈良県立城内高等学校は創立100年目にして少子化に伴う統廃合のために閉校してしまわなければならない学校で、最後に残った3年生の吹奏楽部員10人というチューバもパーカッションもない超小編成でコンクールに出場しました。題名の「百年祭」は創立100周年目にして廃校になってしまう奈良県立城内高等学校の事を指しています。

冒頭はゆったりとしたクラリネットソロから始まり、次第に楽器が増えていき、全員が吹いて響いた所で、テンポが速くなります。快活なフレーズや変拍子などを有効に使った速いテンポの部分の後、再びゆっくりとしたテンポになり100年の時の流れを噛み締めるように曲が終わります。

ノーブル・エレメント

この曲はティモシー・マー（1956年生）の作品で、アメリカのスクールバンドの先生方の組織「ASBDA」の創立50周年を祝って作られた曲です。激しいリズムや金管の見事な高

鳴りを持つ曲です。興奮させられる主部に続き、第2部は静かになって木管が重なり合うように美しいメロディーを奏します。第3部はチャイムやピアノを中心に追憶風なゆっくりした

部分となり、過去の音楽教育に貢献した人が讃えられ、第4部は再びテンポを速めて現代に活躍する先生方が讃えられます。

Notes

2nd Stage

Guest **taca** アコーディオン



写真家. AN) Shun Kambe

秋風にのせて

この曲は、ある秋の日、美しく広がる夕焼けの中、自転車をこいでいる時に頭に突如浮かんだメロディをもとに作曲されました。それは雨上がりのとても美しい夕暮れでした。その夕暮れを見て、憧れの国、ブラジルに思いを馳せて作られた曲です。アコーディオンが奏でる風を感じてください。

1977年岡山生まれ。

9才でアコーディオンを始める。20才でイタリア留学、その後パリへ。クラシック・アコーディオンを Frederic Guerouet、ジャズ・アコーディオンを Daniel Mille、作曲・和声を Daniel Goyone の各氏に師事。

2005年に仏クルヌーブ・オーベルビリエ国立地方立音楽院（コンセルバトワール）アコーディオン科を首席で修了。この間、フランスの世界的ジャズ・アコーディオニスト、リシャール・ガリアーノの知己を得る。仏マルシアク、シャテルロー、アンギャン、ドービルなどに加え、マダガスカル国際ジャズ・フェスティバルに参加。

2007年のパリ・コレクションでは若手デザイナー前浜進作氏のショーのプレゼンテーションで演奏。国連教育・科学・文化機関（ユネスコ）での演奏、ダンサーとの即興や歌手、ミュージシャンとのコラボレーション、実験音楽も積極的に手がける。

2008年にアルバム”風の谷”でデビュー。

2009年10月に2枚目のアルバム”la route de la soie / silkroad project”をリリース。

2012年にtaca-Wind of Legend”Wind of Legend”をリリース。

<http://taca.biz>

My soulful song

2010年の暮れに、日本を代表するキーボーディストであり、作曲家の深町純氏の急死を知り、彼をはじめとする天国に行った偉大なミュージシャンに捧げるために作られた曲です。

転調部分は、なぜそんなに早く亡くなってしまったのかという怒りにも似た感情とともに、天国でこの曲を聴いてもらいたいという思いが込められています。寂しさと強い躍動感を併せ持つ、もの悲しいバラードで、魂のこもった楽曲となっています。

2011年3月11日の大震災以降は、被災された方々を思って演奏してきた曲です。

第53回 全日本吹奏楽コンクール 中国大会



第53回 全日本吹奏楽コンクール 県大会・中国大会 金賞



課題曲「希望の空」 自由曲「幻想交響曲」より 指揮 多戸 幾久三

ご声援ありがとうございました。



倉敷アカデミックウインズ
一年の活動

わくわくコンサート
[5月20日]

コンクール 県大会
[8月10日]

コンクール 中国大会
[8月26日]

バンドフェスティバル
[9月23日]

訪問演奏
[10月28日、12月22日]

倉敷アカデミックウインズでは新しい仲間を募集中です。
吹奏楽の経験がある方!一緒に音楽を楽しみましょう♪
まずは、一度私たちの練習に遊びに来てください。

Official WEB <http://www.kaw.ne.jp/> E-Mail: kaw@kaw.ne.jp

Member List

CONDUCTOR

山崎 良統☆

OBOE

長島 陽子 丸橋 章勇

PICCOLO

喜多野 智子☆

FLUTE

大元 幸恵 塩津 恵 南 恵梨 横内 理絵

CLARINET

安宅 忠司 石田 純子☆ 植野 祐梨☆ 大河 悟子 大野 晶子☆ 関 文彰 橘 侑里
宝来 理恵 三宅 宏美 宮谷 理紗子(賛助) 横山 弓子

SAXOPHONE

井上 晃江☆ 門野 敏之☆ 荻田 朋子 畑本 麻美 船曳 麻弥

FAGOTTO

八木 好恵

TRUMPET

加藤 嬉恵 金橋 美花 唐井 靖恵☆ 多田 文彦
中山 幸治☆ 成山 恵子 原田 宗範

HORN

今若 康久☆ 重松 真由美 高谷 麻里子☆ 常國 真吾○ 中島 繭☆ 林 智志 船越 恵(賛助) 真嶋 留衣子

TROMBONE

岡本 国芳 小原 則行 小牧 崇宏 長井 志保 三木 剛☆ 柳井 景子 行本 理恵

EUPHONIUM

佐藤 裕史○ 世戸 裕子☆ 守屋 香織

STRING BASS

志田 明恵(賛助)

TUBA

浅野 尚行○ 朽木 陽一 小林 美樹(賛助)

PERCUSSION

大西 智子 日下 朋美 朽木 マキ 小橋 由布子 火口 ひとみ 三上 優加里 渡辺 麻野☆

○団長・総務、○副総務、☆実行委員



「明日へ」復興支援ソング

花は咲く

作詞：岩井 俊二

1.

真っ白な 雪道に 春風香る
わたしは なつかしい
あの街を 思い出す

叶えたい 夢もあった
変わりたい 自分もいた
今はただ なつかしい
あの人を 思い出す

誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましてる
誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

2.

夜空の 向こうの 朝の気配に
わたしは なつかしい
あの日々を 思い出す

傷ついて 傷つけて
報われず 泣いたりして
今はただ 愛おしい
あの人を 思い出す

誰かの想いが見える
誰かと結ばれてる
誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう
花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
わたしは何を残しただろう

花は 花は 花は咲く
いつか生まれる君に
花は 花は 花は咲く
いつか恋する君のために

本日の演奏会にご協力いただいた方々(敬称略)

- 照明／有限会社 オールライツ
- 音響／株式会社 サウンド・スケッチ
- 警備／株式会社 M・Kセキュリティー
- ステマネ／宗田 隆幸
- 写真／石本 薫
- 受付・舞台／井原吹奏楽団 メルヘン ウインド アンサンブル
- 株式会社 中川楽器
- 印刷／株式会社 山陽折込広告センター